

# 福井県

(全域)

## 積雪前の除草剤散布で斑点米激減

### 【1. 概要】

- ・積雪前に水田周辺雑草地に除草剤(DBN剤)を散布し、斑点米の発生を効果的に抑制
- ・H27の県内導入面積は約300ha。H24年度比176%増で、実施率は37.5%
- ・普及促進のため、H24,25に県内2か所で現地実証圃を設け、周辺地域に波及

【問い合わせ先】  
農業試験場生産環境研究グループ  
電話：0776-54-5100 (代表)

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・水稻の斑点米カメムシ防除については、畦畔の草刈り3回と本田防除2回を基本としているが、作業が集中し大規模経営では適期作業が難しかった
- ・積雪前にDBN剤散布1回、出穂前の畦畔草刈り1回、本田防除1回によって慣行よりも斑点米発生が少なく、防除コスト(資材費・労賃)も低減できた

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・集落営農組織と協力し現地実証圃を設けた。経営面積が大きいため波及効果は高く、近隣の集落もその効果を見て技術を導入することで効果的に拡大した
- ・また、成果発表会、出前講座等を行い、3年間で延べ1,300人の生産者・関係者にPRした

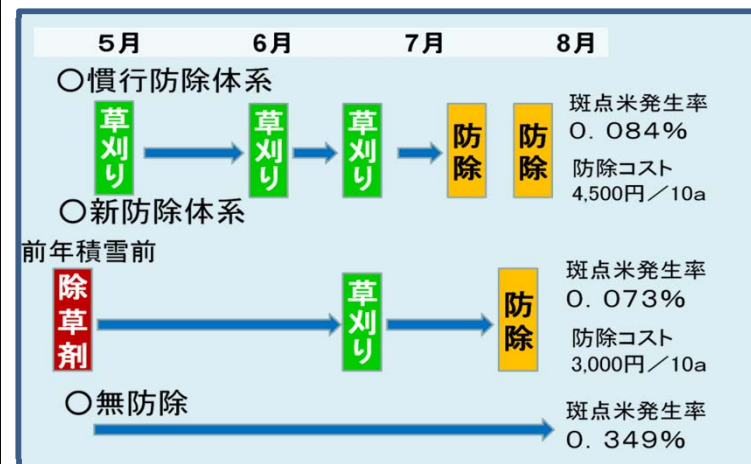


図1. 各防除体系のコストと斑点米発生率

調査地	DBN剤散布	カメムシ類(頭)	
	12月上旬	成虫	幼虫
南越前町	有	0	0
	無	157	0
福井市	有	0	0
	無	55	12

注) 調査月日：平成24年6月25日  
調査方法：20回往復すくい取り調査

図2. DBN粒剤散布とカメムシ類の発生

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・斑点米カメムシ類対象の本田防除回数を1回削減でき、コスト低減を図れた。防除効果も高かった(図1、2)
- ・毎年取り組みが拡大しており、H27は畦畔面積の37.5%で実施